



MBニュース



【新物マッシュルーム情報】

丸松物産株式会社

弊社貿易部員が、先月、マッシュルーム産地で情報を収集しましたので、以下ご報告します。
マッシュルームの主な産地である福建省漳州地区では、1月下旬、原料の収穫が本格的に始まりました。天候は順調で、各工場では約60~70t程の無選別原料を毎日入荷していましたが、ここ数年、同地区での新たな土地開発の影響を受けて、マッシュルームの栽培面積は昨年比で10~15%減となっており、その結果、新物の生産量は、長期休暇となる春節(旧正月)前の前半期では、昨年度産に比べて約10%減になったとの事です。

また、ロシアのルーブルが大暴落した影響を受けて東欧地区での中国産マッシュルームの引き合いが低迷しており、更に米国向けにおいてもその需要が不振となっている為、中国現地での原料取引価格は、国内人件費が約10%上昇したにも関わらず、昨年比で約16%安となっております。
現地では、これ以上の値下げは農家の採算が合わなくなる為、春節後の生産後半期にその原料価格が上昇するものと予想されております。

しかしながら弊社では、日本は円安の影響を受けて国内市況が低迷し、その需要低下に繋がっている事から、今年の新物輸出価格は昨年並みになるものと予想致しますが、いずれに致しましてもこのような需要減の影響による現地での価格上昇は避けられても、円安の影響による価格上昇は依然として避けられない状況となっております。

【2014年中国10大ビジネスニュース発表10項目(2)】

※MBニュースNO.83の続き

⑤ オンライン小売業が引き続き好調 国境を越えるECも発展

商務部が重点小売企業5千社に対して行ったモニタリングデータによると、2014年1月-11月、ネットショッピング業の成長率は33.3%に達し、一定規模以上の企業のオンライン小売額は55.9%増となった。

ネットショッピングが引き続き急成長した2014年、ネットを通して海外のサイトで買い物することを指す「海淘」が重要なキーワードとなった。昨年は積極的に国境を越えるEC業務を展開。税関総署のデータによると、2014年末の時点で、中国の個人国境を越えるEC市場は2千億元規模を突破する見込みだ。

⑥ 小売企業の合併買収・再編が集中 オンライン・オフラインの融合加速

2014年の小売業界では、合併買収・再編が少なくなかった。小売企業は相次いで相応しいチャンスと対象を見出し、合併買収を実施した。一方で、実店舗と電子商取引業者はオンライン・オフラインの融合を加速し始めた。

⑦ 物流業が戦略的産業に格上げ 商業貿易物流の発展に注目

2014年9月、国務院は「物流業発展中長期計画(2014-2020)」を発表し、物流業は国民経済の発展を支える基礎的・戦略的な産業であると指摘した。

同計画の発表後、商務部は「商業貿易物流発展の促進に関する実施意見」等の関連文書を発表し、「商業貿易物流を国内貿易の『ステップアップ』の突破口とする」「各企業による国内外市場の開拓を支える」などの意見を明確に打ち出した。また、共同配送、統一配送、集中配送などの先進的なモデルの普及を奨励した。

(※来月号につづく)

「人民網日本語版」2015年1月12日より一部抜粋

【新商品情報】

	商品名	黒ゴマひじき 1kg	
	商品説明	芽ひじきをたっぷり使用し、黒ゴマで和えて少し甘めに仕上げました。一度食べたら癖になる商品です。野菜との和え物等、お好みのアレンジでお使い下さい。	
	主要原材料	ひじき、すりごま	
	賞味期限	製造日より6ヶ月	
	使用上の注意	開封後は10℃以下に冷蔵して、5日以内にお召し上がりください。	